



昨年末の厚生労働省発表の全国平均寿命ランキングで、滋賀県の男性が1位、女性が4位となりました。三日月滋賀県知事の年頭のご挨拶でも「健康」をキーワードに抱負を述べられました。皆様も今年1年健康にお過ごしになりますことをお祈り申し上げます。

滋賀県議会議員

た な か ま つ た ろ う
田中松太郎

プロフィール ■ 1972年 滋賀県甲賀市生まれ ■ 甲賀市甲賀町 在住 ■ 県民生活・土木交通常任委員会、文化・スポーツ対策特別委員会 副委員長



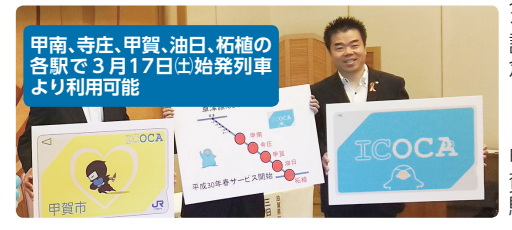
県政レポート
2018年1月 Vol.11

平成30年 3月17日 日より
JR草津線ICOCA利用エリア拡大
甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅、柘植駅でも利用可能に!!

平成27年度の6月定例会議及び2月定例会議におきまして、二度にわたり私が一般質問で取り上げました、JR草津線のICOCA改札機未設置駅(甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅、柘植駅)へのICOCA改札機の設置につきまして、平成30年3月17日(土) 始発列車より利用可能となることと決定しました。

これによりICOCAをはじめとする全国相互利用のICカード乗車券(Kitaca・PASMO・Suica・manaca・TOICA・PiTapa・はやかけん・nimoca・SUGOCA)が各駅でご利用いただけます。

なお、当日はICOCA利用エリア拡大を記念しJR甲賀駅北口ロータリーにおきまして、こうか駅前マールシエ大原自治振興会若者プロジェクト(なごのイベント)が開催される予定です。



平成三十年 油日神社にて

11月定例会議 一般質問
滋賀の書道について

滋賀県の書道教育は全国的にも独特で、テレビ等で取り上げられたこともあります。

まず、小学校で使用する書道用具が大筆よりもさらに太い書き初め用の大筆だけです。インターネットで書道セットを検索してみると「滋賀県仕様」というものがあるほどです。他府県から引越してきた方が書道用具の違いに驚くという話も見聞されます。同様に、滋賀県から他府県に転校された場合も困惑されているだろうことは容易に想像できます。

書き方については、公益社団法人滋賀県書道協会の理念が広く浸透しています。県内の教職員が中心となつて昭和24年に立ち上げられ、現在は書道関係としては滋賀県内唯一の公益法人であり、書道文化の普及発展のため活発に活動しています。協会の2つの理念「育てよう子どもの書」「確立しよう自分の書」に基づき、子どもらしさと個性を重視しているのですが、特に小学生の毛筆は、大きく大きく「はね」は自由、バランスよりも勢いを重視して書くよう指導され、通称「滋賀文字」や「滋賀習字」と言われています。

小学生のころから芸術的な感性を磨くことは素晴らしいですが、現在小・中学校で行われている毛筆の授業は書道の授業ではなく書写の授業です。書道は芸術教育であり、書写は国語教育の中の文字教育です。以上を踏まえ県における書道についてお伺いします。

- Q** 小・中学校の現行の学習指導要領では、書写をどのように位置付け、指導の内容を示しているのか
- A** 教育長 書写は、国語科の指導内容として位置付けられ、小学校低学年から中学校3年生まで発達段階に応じた指導内容が示されています。硬筆は各学年で、毛筆は小学校の3年生以上です。
- Q** 小・中学校の書写の授業で、実際にどのような学習が行われているのか
- A** 教育長 教科書や副教材等を活用し、指導を行っています。手本を参考に文字をじっくり書く場面もあれば、教員が文字を書く様子を見て、筆の使い方を学習したり、筆使いを練習したりするよう学習場面もあります。作品展が開催される時期は、集中して作品づくりに取り組む場面もあります。
- Q** 作品展等に出品して子どもたちに自信を持たせることも重要だと考えるがどうか
- A** 教育長 書写や図工・美術、技術・家庭科等の作品展の募集は多数あり、作品展を活用している学校も多く、学習に向かう前向きな気持ちを喚起したり、入賞することで、自信に繋がることもあると考えています。
- Q** 滋賀県独自の書道教育について、小・中学校の指導のなかにも生かされている部分があると考えられるがどうか
- A** 教育長 学習指導要領に基づき、勢いのある文字やのびのびした文字など工夫のある書き方についても指導をしています。
- Q** 書写は、毛筆の作品作りを取り組むこととあわせて、文字を書く基礎・基本を身に付けるという視点が大切だと考えるが
- A** 教育長 学習指導要領では、例えば小学校3・4年生の内容として「文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと」、中学校1年生では「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く」、中学校3年生で、「身の回りの多様な文



- 字にも関心をもち、効果的に文字を書くことと示されており、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けることが大切にされています。
- Q** 小・中学校の書写と高等学校の書道を、芸術や文化を大切にするという視点からどう繋いでいくことが大切だと考えるか
- A** 教育長 書写を基盤にしなから芸術としての表現性を伸ばすのが書道であり、書写と書道の内容は一貫性をもっています。小・中学校と高校の両方が意識をして、子どもたちの学びをつないでいくことが大切です。
- Q** 県立高校において、どのように書道を学んでいるのか
- A** 教育長 高校では、「音楽、美術、工芸、書道」のうちから一つを選択して履修します。授業では、手本をもとに基本的な技法を習得するだけでなく、様々な古典の書体に触れたり、グループワークによる作品制作をおこなったり、展覧会に出品する作品の制作をしています。部活動としては、29校に書道部があり、活発に活動しています。
- Q** 高校生が書道に取り組むことにより得られる成果をどのように捉えているのか
- A** 教育長 伝統と文化についての理解を深めるだけでなく、生徒が主体的に考え、工夫する創作の指導が積極的な創作活動へとつながっていると考えています。
- Q** 「滋賀県硬筆作品展覧会」や「滋賀県書写初め展覧会」では、授業で書道を選択した生徒の作品が入選・入賞を果たし、部活動としては「国際高校生選抜書展」の今年度団体の部で県立伊吹高校が2年連続近畿地区優勝の他、優秀な成績を収めています。また、地域と連携した活動として、「書道パフォーマンス」を行った

- り、地域の子どもと共同で作品作りを行うワークショップなどを行うことで、地域の活性化にも貢献しようとする態度が養われています。
- Q** 中学校では小学校とくらべて限られた時数のなかでの指導の工夫が必要になってくると思うが、高校の取り組みにつながるという視点からどのようなことができるのか
- A** 教育長 教科書を主にしながら、各学校において、生徒の興味・関心あるいは実態に応じ、また、地域の特徴を生かし、教材や指導方法を工夫していくことも大切です。書写の学習をしっかり行うことで、手書きの文字を書くことの大切さに気付いたり、書道への関心を高めたりすることになり、高等学校の学習や部活動での取り組みにもつながるものと考えています。県教育委員会としては、今後、国語科の研修会あるいは学校訪問等を通じて、書写の効果的な指導方法について助言を行っていきます。
- Q** 書道をはじめ、生涯学習をどのように推進しているのか
- A** 教育長 書道は子どもから高齢者まで取り組める生涯学習そのものです。県では県民の皆さんの多様な学びを支援するため、地域における学習機会の提供を推進しています。今後も講座や教室などの情報を、滋賀県学習情報提供システム(におねっと)や冊子等で提供し、県民の主体的な生涯学習の取り組みを支援していきます。
- Q** 滋賀県の特徴ある書教育の取り組みと書道文化の振興について
- A** 知事 今後も、子どもたちが郷土への愛着を深め、書道という日本の文化を大切にすることを育んでくれるよう応援したいと思います。県では、展覧会やイベントを通じて日頃の活動を発表していただく機会を提供し、書道文化の振興に努めています。米国ミシガン州のデザイナー知事が来県された際も書道パフォーマンスを行い、書道文化を通じた国際交流を行いました。文化・芸術の力を滋賀の活力としていけるよう、引き続き関係団体とも連携しながら取り組んでいきます。